

公益社団法人 砥粒加工学会 北陸信越地区部会 報告

令和6年度 地区部会大会・第1回研究・見学会を終えて ～ 東振精機 粟生第二工場（石川県能美市）～

1. はじめに

去る3月28日(木)に北陸信越地区部会 企画として、令和6年度 地区部会大会および第1回研究・見学会が石川県能美市にある東振精機 粟生第二工場において開催された。その概要を以下に報告する。

2. 令和6年度 地区部会大会

地区部会大会は、宮島敏郎 庶務幹事（富山県立大学）の進行により、畷田道雄 地区部会長（金沢工業大学）の挨拶で開始した。その後、畷田部会長から、令和5年度の運営委員紹介と事業報告について、江面篤志 会計幹事（三条市立大学）から、決算報告・監査報告が行われた。次に、畷田部会長から、令和6年度の運営委員紹介と事業計画案（運営委員会3回、研究会3回）の説明と、江面 会計幹事から、予算案が説明され、確認された。また、磯部浩巳 特別幹事・ABTEC2024（長岡） 実行委員長（長岡技術科学大学）より ABTEC2024（長岡）（8月26日（月）～28日（水））の紹介が行われた。

3. 令和6年度 第1回研究・見学会

地区部会大会に引き続き、橋本洋平 石川県幹事にとりまとめいただき、第1回研究・見学会が開催された。研究会は、2件の講演が行われた。始めに、新潟大学 月山 陽介 氏より「接触面の評価技術と機能性表面の創製」と題して講演が行われた。接触面の評価技術として、真実接触面顕微鏡、接触面形状観察技術についてと、機能性表面の創製、透明体の形状計測技術例についてお話しいただいた。

次に、金沢大学 橋本 洋平 氏より「バレル研磨による表面創成」と題して講演が行われた。バレル研磨に関する説明の後に、遠心バレル研磨とジャイロバレル研磨の研究についてお話しいただいた。

いずれの講演についても参加者から多くの質問があり、講演者と活発な議論が行われた。

その後、東振精機 技術紹介を社長 中村 翔太 氏にいただき、工場見学を行った。東振精機は、ベアリングの転動体であるコロを数千種類も作られている専門メーカーで、そのための独自の研削機等もグループ会社の東振テクニカルで作られている。工場見学では、様々なコロ製品等について、素材の伸線からコロに至る製造工程を詳しく見せていただいた。

見学会終了後、総合討論を行い、宮島より閉会挨拶を行った。

その後、東振精機様にご協力いただき、自由参加での情報交換会を約1時間開催した。短い時間であったが、講師や参加者との交流ができた良い機会となった。

4. おわりに

能登半島地震もあり、参加者数の心配もあったが、最終的に40名の方にご参加いただき、大盛況となった。3月には、北陸新幹線の敦賀延伸もあり、より北陸信越地区の距離が短くなった。令和6年度、地区部会としては、8月開催の ABTEC2024（長岡）と、併催する地区部会周年行事、また、今後開催予定の研究会に向け、運営委員会メンバーとともに力を合わせて進めていきたい。

（文責：宮島敏郎）



図1 地区部会長 畷田道雄 氏



図2 新潟大学 月山陽介 氏



図3 金沢大学 橋本洋平 氏



図4 東振精機 中村 翔太 氏



図5 研究会の様子



図6 情報交換会の様子